



詳しい内容や分からないことは各担当課に問い合わせてくださいね！



市役所 あれや・これや

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです



11. 20(金)

「弁天座」建築文化賞特別賞に！

「第1回建築文化賞」で「弁天座」が「特別賞」を受賞しました。これは、2007年からの3年間に県内で完成した建物の中から、機能性、芸術性、デザイン性に優れたものに贈られるもので、最高賞の「知事賞」が1点、次に「特別賞」が1点「木造文化賞」が1点「優秀賞」が4点となっています。

今回の受賞は、芝居小屋としての機能の他、格子戸をくぐり抜けたアプローチの空間や、内外装において竹や漆喰などを使用し、雰囲気や妨げる設備機器類を極力目立たせないように工夫している点などが評価されました。



商工水産課 ☎ 57-7520

11. 28(土)~29(日)

全国人権・同和教育研究大会へ参加

「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」をテーマに、第61回全国人権・同和教育研究大会が三重県で開催され、市職員9名と市人権教育研究協議会員13人が参加しました。



大会では、全国各地からのさまざまな事例や取り組み発表をとおり、人権文化の主人公として自分たちが、今、何をすべきかについて話し合いました。

人権課 ☎ 57-8507

12. 6(日)

まちがきれいになりました

本年度も第2回目の市内一斉清掃を住民参加のもと行いました。

毎回、早朝から参加している地域の方々がいるからこそ、美しい地域の保全につながっています。

当日は、道路や水路に捨てられていたビン、缶、可燃ゴミのほか、集積所や地域内に不法投棄されていた大量のゴミが処分されました。

合併後8回目になりましたが、相変わらず出されている家庭ごみの「ついで出し」に、作業に携わっていた方たちからは、「どうして、こんな出し方をするろう?」と、落胆の言葉や「もっと若い人たちに参加してほしいね」などの声も聞かれました。



環境対策課 ☎ 57-8508

12. 9(水)

山本貴金属地金(株)に感謝状贈呈

香我美町大谷工業団地を生産拠点とする山本貴金属地金株式会社より、本社役員の方々など15名によるふるさと応援寄附金70万円をご寄附頂きました。市は昨年に引き続き寄附に対し、山本隆彦代表取締役社長に感謝状の贈呈を行いました。



同社は、経済産業省第2回「ものづくり日本大賞」四国経済産業局長賞をはじめ、数々の受賞歴があり「将来を担う子どもたちが“ものづくり”に興味を持つための関連図書をと」との山本社長の意向に添い、教育の充実を図ることを目的に、図書購入費用として有効に活用させていただきます。

総務課 ☎ 57-8500

プロってすごい

カシオワールドオープン



11月27日(金)芸西村のKOCHI黒潮カントリークラブで開催された「カシオワールドオープン」で、香我美小学校4年生がスナッグゴルフの体験とプロの練習風景を見学しました。スナッグゴルフでは「球を良く見て」と指導を受けながら、思い切ってスイング。また、大会で最長飛距離を記録した額賀辰徳選手の練習見学を見て、果てしなく遠くへ飛んでいく球に「おお〜」と目と口を大きく開け驚いていました。

※前日26日(木)には、夜須小学校4年生が参加



今年もたわわ

市天然記念物「長寿みかん」収穫

12月4日(金)香我美町山北にある樹齢約150年の「長寿みかん」が色づき、同保存会のメンバーらで約460kgを収穫しました。今年も老木に負担をかけないように丁寧に摘果を施したため、実は大きく、味も最高。

市内の保育所・幼稚園・小・中学校や福祉施設などに振る舞われました。会長の岡村彰さんは「絶好の環境と長年の地域の支えで地元のシンボルとなった長寿みかん。今後も手入れを怠らず、1年でも長く残していきたい」と話してくれました。



出会い・ふれあい・わかりあい

人権啓発フェスティバル



11月22日(日)のいちふれあいセンターで「人権啓発フェスティバル」が開催され、約400人の来場者でにぎわいました。これは12月4日~10日の「人権週間」と12月3日~9日の「障害者週間」に先立って開催。

当日は、小中高生による人権作文の発表や「男女共同参画社会」をテーマにした在京アナウンサーによる講演が行われました。講演では、互いに子育てや家庭での役割に責任を持ち合い、良きパートナーとして奮闘中の姿が語られ、来場者は耳を傾けていました。

北淡町の震災から学ぶこと

上夜須自主防災組織視察研修



※研修の内容や感想は、上夜須新聞で地域に報告されました

11月29日(日)兵庫県北淡町の「北淡震災記念公園」で、夜須町の上夜須自主防災組織が視察研修を行いました。

この日参加した25人は、平成7年1月17日に発生した兵庫県南部地震による被災状況を、当時のまま保管された野島断層を実際に見たり、写真や体験者の話を聞いたりして救助活動など詳しい説明を受けました。

参加者からは「地域のつながりや、個々の寝室など隣近所での知る必要がある。早速ここでの経験を活かしたい」と積極的な声が聞かれました。